

# つなぐ



〈設立状況(R元.12.1) 全41地区中〉	
まちづくり協議会	28(30地区)
まちづくり協議会準備会	1(1地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P : <http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicomunity/machidukuri.html>

Vol.28



## 桑原地区まちづくり協議会

# 設立 10 周年記念大会



フードコーナーは、どこも大人気で、販売前から人が並び、瞬く間に完売するブースもありました。



(中面に続く)

10月27日(日) 桑原地区まちづくり協議会設立10周年記念大会が松山東雲女子大学・松山東雲短期大学で開催されました。

江戸会長の主催者あいさつに続き、共催者を代表して高橋学長のあいさつ、その後、桑原地区功労者表彰が行われました。

記念講演では、「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した自主防災活動のスペシャリストである丸亀市川西地区自主防災会会長の岩崎正朔氏を講師にお迎えし、「地域に密着した自主防災活動について」というテーマで貴重なお話をいただきました。

そのほかにも、フードコーナーやステージイベント、屋内の休憩所では健康相談や他地区のまち協ブースなどがあり、大変盛り上がった大会となりました。

# 桑原地区まちづくり協議会 設立 10 周年記念大会

桑原地区まちづくり協議会設立 10 周年のお祝いに、たくさんのまちづくり協議会の皆さんにもご協力いただきました！



潮見まち協



生石まち協



堀江まちコミ



松山東雲女子大学  
・松山東雲短期大学

大会会場入り口では来場者にスムージーが振る舞われたほか、キッズコーナーや、フードコーナー、ステージイベントなど大会の盛り上げにご協力いただきました。



# 地域力パワーアップ大会

桑原まち協 10 年の歩み



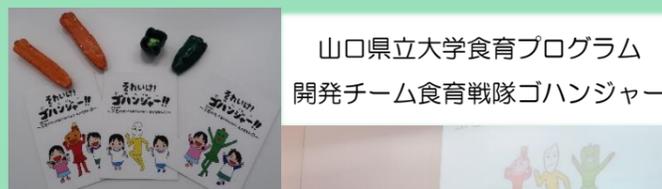
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学



桑原地区まちづくり協議会からは、「10 年の歩み」として、これまでの取組の成果やまちづくりへの思い、苦労したことなどを発表していただきました。

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学からは、しのめベジガールの取組やしのもん応援隊の活動など4つの事例発表をしていただきました。どの発表も大学の特色を生かした学生の熱心さが伝わる内容でした。

また、他地域の取組として、山口県立大学食育プログラム開発チーム食育戦隊ゴハンジャーの皆さんに発表していただきました。演劇を交え、手作りの教材を回覧するなど動きのある発表で、会場の皆さんも真剣に耳を傾けていました。



山口県立大学食育プログラム  
開発チーム食育戦隊ゴハンジャー



▼アドバイザーの講評



▲各まち協の紹介  
パネルや広報紙など



桑原地区まちづくり協議会

桑原地区の女子会「くわばらジェンヌ」の皆さんは、愛情たっぷりお手製のシフォンケーキなどを販売しました。



安全安心部の防災コーナーでは、防災エプロンや防災アームカバー、紙スリッパの作り方などを展示しました。



「青壮年有志の会」の皆さんは、お揃いのシャツを着て、杵と石臼でつくたてのやわらかいお餅を販売しました。



# まちづくり協議会交流会を開催しました

## 余土地区まちづくり協議会



## 令和元年度まちづくり協議会交流会

次の世代へ夢をつなぐまちづくり  
～ 撒かぬ種は生えぬ ～

生石地区まちづくり協議会 舊地和人  
令和元年11月12日(火)  
松山市役所11階大会議室

## 第2回余土子ども夏フェス



余土地区まちづくり協議会

## 生石地区まちづくり協議会



情報提供として、会場には、まち協の広報紙やマップなどを置きました。



11月12日(火)に、まちづくり協議会交流会を開催し、まちづくり協議会に携わる多くの皆さんにご参加いただきました。今回は、生石地区まちづくり協議会から、地域の特色づくりとして垣生山を里山にする活動などについて、また余土地区まちづくり協議会から、子ども夏フェスの開催に至った過程や内容などについて発表していただきました。

事例発表の後、4名程度のグループに分かれて意見交換をし、最後にアドバイザーから講評をいただきました。

参加された皆さんは、既に顔見知りの方も多い様子で、活発に意見交換をされていました。まちづくりという同じ目的を持った皆さんが交流できる場を、これからも作っていきたいと思います。

地域には意欲のある人が2割、無関心な人が6割、後ろ向きな人が2割います。意欲のある人が引張れば、無関心な人はついてきますが、後ろ向きな人への心配りも必要です。



次の世代や新しい人たち、学生、女性をどう巻き込むかが大事という話が出ました。活動しやすい場づくりへの知恵を出し合うことが必要といった意見も。

人口が減り、子どもも学校も減って、高齢者が目立つように。今までと同じようなやり方では厳しくなってきたことを考えると、何に焦点を当てるかが大切です。



## 第26回まちづくりで輝く人

地域で活躍している人を紹介します



桑原地区まちづくり協議会  
副会長兼事務局長  
朝山 和孝さん

趣味

中学生から始めたサッカーを現役で続けていることと、たまに行く磯釣り。

今回の表紙で紹介した桑原地区まちづくり協議会の副会長兼事務局長として活躍されている朝山和孝さんを紹介いたします。

「まち協でどのような活動に取り組みられていますか？」

事務局として全般的な活動支援の在り方や、各部・関係団体などの連携を図り、まちづくりの活動がスムーズに進行できるように調整を行っています。

「まち協で活動して良かったことや苦労したことを教えてください。」

良かったことは、当初より参加団体が増え、活動自体の取組が広範囲にわたって繋がってきたことです。

苦労したことは、まちづくり自体の活動を地域住民の皆様に理解をもらうまでに時間を要したことです。

「まち協が設立して10年が経過しましたが、一番印象に残っていることを教えてください。」

淡路ヶ峠(あわじがとう)登山道の道普請(みちぶしん)と合わせてPTA時代から実施していた桜植樹活動が千本という区切りの節目を迎えたことです。

【今後の目標や抱負を教えてください。】

まちづくり各部の活動をさらに充実したものにすべく高みを目指し、青壮年部・シエンヌ(女子会)・学生部の地域連携を一層推進していきます。